

令和3年度第1回総合教育会議 会議録（要旨）

- 1 日時 令和3年10月19日（火） 8：30～8：55
- 2 場所 白石町役場 3階 大会議室
- 3 出席者 【構成員】

白石町長 田島健一
教育長 北村喜久次
教育委員 松尾博之
教育委員 堤 王宏
教育委員 川崎姿子
教育委員 一ノ瀬ひとみ

【事務局】

企画財政課長 坂本博樹
企画財政課 課長補佐 山下将史
企画財政課 政策調整係長 溝口 篤
企画財政課 政策調整係 川崎 明
学校教育課長 出雲 誠
主任指導主事 梅木純一
学校教育課 課長補佐 吉村 浩
指導主事 喜多千鶴
指導主事 下平博明
学校教育課 教育総務係長 川畑徳人
学校教育課 学校教育係長 今福結城
学校教育課 新しい学校づくり係長 本山雅章
学校教育課 学校給食係長 野中和男

【傍聴者】 なし

- 4 会議次第
 - 1 開会
 - 2 町長挨拶
 - 3 議題
 - (1) 新設中学校の校名について
 - (2) その他

5 閉会

《以下、議事録本文》

1 開会

○山下企画財政課長補佐

ただいまから令和3年度第1回総合教育会議を開催する。
最初に田島町長から挨拶をお願いする。

2 町長挨拶

○田島町長

本町においては、学校の統合再編ということで、まず中学校を先行して行っており、校名をどうするかということだけでただいま話をいただいている。本日はそのことについて意見交換を行いたい。

○山下企画財政課長補佐

総合教育会議は、町長が議長を務めることになっているが、本日は、自由な討議を行ってほしいことから事務局の方で進行させていただく。

本日の議題については、新設中学校の校名について。
まず、事務局から説明をお願いする。

3 議題

(1) 新設中学校の校名について

○本山新しい学校づくり係長

新設中学校の校名の選定について資料に基づき説明させていただく。

校名の応募結果は、期間が7月12日から8月20日までで1,058名の方から応募をいただき、応募校名数は431件となった。

まず8月27日に開催された新しい学校づくり準備委員会で1次選考を行い10候補に絞った。10候補の名称は、碧維館(あおいかん)、白石誠進(しろいしせいしん)、みのり、歌垣(うたがき)、白石碧(しろいしみどり)、ゆうあい、江南(こうなん)、白石みのり(しろいしみのり)、白石(しろいし)、白石黎明(しろいしれいめい)となった。

また、9月24日に新しい学校づくり準備委員会で二次選考を行い4候補まで絞った。4候補の名称は、碧維館(あおいかん)、白石(しろいし)、白石みのり(しろいしみのり)、みのり となった。

最終的に4候補の中から1案を選び12月議会に学校の設置条例の改正案を提案し可決されれば決定となる。

校名の募集要項については、新しい学校にふさわしい校名とだけとしており、詳細な条件はあまりつけていない。応募数が多かった名前に決めるということではないとは説明をしている。

また一次選考、二次選考では、参考としていくらかの基準を設けた。白石町の歴史や地理に関係するもの、読みやすく、わかりやすく、親しみを感じるもの、商品名や人名など固有名詞でないもの、県内他市町の既存の学校名と重複したり酷似していないもの、町内の一部の地区やエリアを示すものではないもの等の基準を参考として一次選考及び二次選考を行っている。

○出雲学校教育課長

本日、町長、教育委員からご意見をいただき、教育委員会で1つに決定したいと考えているのでよろしく願います。

○田島町長

校名というのは、将来にわたって愛される名前であればいけないと思う。私の意見としては、応募数でも二次選考でも第2位と大きな開きがあるので、「白石」という名前が民意を反映したものではないかと思う。

○松尾教育委員

旧3町はあるが、みんな「白石」という感覚なので。「白石」がいいのではないかと思う。

○堤教育委員

歴史的な話と地名のことで話をすると、今は白石町で一つの町となっているが、旧3町で行くと、白石・福富・有明となっていて、そのアイデンティティができたのは昭和30年の昭和の合併以降の話で、特に昭和11年以前は白石と名前のついた基礎自治体は存在してなかった。その時に白石という名前がどこを指していたかというと杵島山と六角川と塩田川と有明海で囲まれた地域を指していた。それから昭和30年の昭和の合併で白石・福富・有明という名前が出てきて町民の愛着ができてきたのだと思う。歴史と地名の話からすると、もともとは今の町のエリアが白石と呼ばれていたもので、私も白石という名前がよいと思う。

○川崎教育委員

新しくできた学校に入る子どもたちは合併後に生まれているし、白石という

名前が身近にあり成長してきた子どもたち。他の校名も応募理由等がしっかりしていて悩ましいところではあるが、応募数や票数が一番多い白石が妥当ではないかと思う。

○一ノ瀬教育委員

地名にあった名前にしないとどこにあるかわからない可能性がある。白石中学校になるのだろうなど町民の中でも思いがあり、白石中学校という名前にしても大きな批判はないと思う。

○北村教育長

多くの応募をいただいたこと大変ありがたく思っている。私としては、合併してからかなりの年数が経っているが、いまだに旧町意識が払拭できていない部分があると思っている。まちづくりにもつながることから、これを気に白石中学校という名前にして、白石は一つという雰囲気を作りたい。

○田島町長

トップセールスで首都圏に出向くと、白石のネームが入った法被を着てセールスを行うが、「駅伝の強い白石ですか？」という声をかけていただく。白石という名前をPRするためにも残していただきたい。

○山下企画財政課長

委員一人ひとりから思いを語っていただいた。その他なにかありませんか。

○田島町長

校名を決めてから校章は決めるのか。

○本山新しい学校づくり係長

校名を決めてから決める。

○田島町長

校章については、様々な方の意見を聞いてユニークなものにしていただきたい。

○本山新しい学校づくり係長

次回の準備委員会から校章についても考えていく。

○堤教育委員

移行期間の子どもたちは、自分たちの学校が卒業してからすぐなくなったという感覚を持つと思う。そういう子どもたちをフォローできるような取組ができればと思っている。

○山下企画財政課長補佐

この後、教育委員会で最終選考を行われる。これで総合教育会議を閉じさせていただく。